



2023年10月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年6月13日

上場会社名 REVOLUTION

上場取引所 東

コード番号 8894 URL <https://revolution.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) ジョン・フー

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 津野 浩志

TEL 083-229-8894

四半期報告書提出予定日 2023年6月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第2四半期の連結業績(2022年11月1日～2023年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第2四半期	354	16.2	167		164		166	
2022年10月期第2四半期	422	28.9	110		98		139	

(注) 包括利益 2023年10月期第2四半期 148百万円 (%) 2022年10月期第2四半期 107百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第2四半期	0.42	
2022年10月期第2四半期	0.35	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年10月期第2四半期	2,950	1,528	51.8	3.82
2022年10月期	3,598	1,677	46.6	4.19

(参考) 自己資本 2023年10月期第2四半期 1,528百万円 2022年10月期 1,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期		0.00		0.00	0.00
2023年10月期		0.00			
2023年10月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年10月期の連結業績予想(2022年11月1日～2023年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,604	28.5	92		82		84		0.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年10月期2Q	400,000,510 株	2022年10月期	400,000,510 株
期末自己株式数	2023年10月期2Q	4,301 株	2022年10月期	4,301 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年10月期2Q	399,996,208 株	2022年10月期2Q	399,996,249 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に関して5類感染症に位置づけることが政府より発表され、今後の経済活動の水準引き上げが進みました。しかしながら、ロシア・ウクライナによる紛争が継続していること、アメリカ債務上限問題の顕在化や為替相場においては依然として円安傾向にあること等により原材料や光熱費が高騰し、国内における経済状況は非常に厳しくなっており引き続き不透明な状況が継続しております。

当社グループに係る不動産業界及び投資業界においても、国内景気と同様、先行きは不透明な状況です。

このような状況下、不動産事業においては、日本を再生するために日本を買う「BUY JAPAN」を事業テーマに不動産運用へのビジネスモデルの転換を進めつつ、物件仕入れ等に注力しました。投資事業においては、保有する上場会社社債を株式に転換し市場での売却を進めるとともに、新たな投資先の検討を進めております。

その結果、当第2四半期連結累計期間におきましては、売上高は3億5千4百万円（前年同四半期比16.2%減）、営業損失は1億6千7百万円（前年同四半期は営業損失1億1千万円）、経常損失は1億6千4百万円（前年同四半期は経常損失9千8百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億6千6百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億3千9百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、当第2四半期連結会計期間より「ファイナンス事業」を新たな報告セグメントとして新設しております。

① 不動産事業

仕入れた物件の売却や中古住宅の仲介案件を中心に契約、引き渡しを進め、物件の管理や営繕工事、家賃収入等の賃貸事業に注力いたしました。また、物件の仕入れについて関東、関西、福岡地域を中心に検討を続けております。なお、昨年仕入れた東京都港区六本木の土地について売買契約を締結し、第3四半期連結会計期間での引き渡し（売上計上）いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2億2千6百万円（前年同四半期比39.0%減）、営業損失は1千4百万円（前年同四半期は営業利益3千1百万円）となりました。

② 投資事業

当第2四半期連結会計期間以降、PBR（株価純資産倍率）が1倍を下回る先への新規投資を検討、実行しております。また、SCRIPTS Asia Inc. への出資の買戻契約を締結し譲渡、燦キャピタルマネージメント株式会社の新株予約権を売却し、それぞれ資金化を実施いたしました。なお、投資運用業、投資助言代理業開始に向け、関東財務局に対して申請手続きを提出し、質疑応答を進めておりましたが、当第2四半期連結会計期間後の2023年5月9日付で登録通知を受領いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1億2千7百万円（前年同四半期比150.5%増）、営業利益は5千6百万円（前年同四半期比268.0%増）となりました。

③ ファイナンス事業

当第2四半期連結会計期間において、不動産事業及び投資事業のノウハウを生かす不動産金融のプラットフォーム運営を行うことを目的とした不動産金融子会社を新たに設立いたしました。不動産担保融資をお取り扱いする貸金業者様に対して、バックファイナンス資金を提供する卸金融事業を展開するために必要な申請を官公庁に行い、許認可を得て事業を開始する予定です。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は無く、営業損失2百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は28億4千9百万円となり、前連結会計年度末に比べて6億3千4百万円減少しました。現金及び預金の減少4億2千1百万円、営業投資有価証券の減少2億7千3百万円が主な要因であります。

② 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は1億円となり、前連結会計年度末に比べて1千2百万円減少しました。敷金及び保証金の減少2千3百万円が主な要因であります。

③ 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は13億3千8百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億1千万円減少しました。借入有価証券の減少4千9百万円、預り金の減少1千9百万円が主な要因であります。

④ 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は8千3百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億8千9百万円減少しました。長期借入金の減少4億円が主な要因であります。

⑤ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は15億2千8百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億4千8百万円減少しました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は29億5千万円となり、前連結会計年度末に比べて6億4千7百万円減少しました。

⑥ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、7億6千8百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動によるキャッシュ・フローは7千8百万円の支出となりました。これは、主として棚卸資産の増加による支出6千9百万円、借入有価証券の減少による支出4千9百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動によるキャッシュ・フローは3千2百万円の収入となりました。これは、主として敷金及び保証金の回収による収入2千6百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動によるキャッシュ・フローは3億7千3百万円の支出となりました。これは、主として長期借入金の返済による支出4億円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえて、2022年12月15日付の「2022年10月期決算短信（日本基準）（連結）」で公表した2023年10月期の業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日別途公表いたしました「2023年10月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,176,837	755,218
営業未収入金	19,905	16,040
営業投資有価証券	494,695	220,838
商品	523	357
販売用不動産	1,692,925	1,761,982
未成工事支出金	7,057	8,064
その他	93,751	88,904
貸倒引当金	△1,138	△1,710
流動資産合計	3,484,558	2,849,696
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,691	29,231
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	5,578	4,258
有形固定資産合計	22,269	33,490
無形固定資産		
ソフトウェア	4,250	3,740
その他	4,265	4,265
無形固定資産合計	8,516	8,006
投資その他の資産		
投資有価証券	6,750	7,155
出資金	950	950
破産更生債権等	3,235	3,102
敷金及び保証金	74,393	50,414
その他	760	680
貸倒引当金	△3,235	△3,102
投資その他の資産合計	82,853	59,199
固定資産合計	113,639	100,696
資産合計	3,598,198	2,950,393

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	28,174	13,993
短期借入金	1,000,000	1,027,000
未払金	1,909	981
未払法人税等	625	246
借入有価証券	124,402	74,593
預り金	130,707	111,395
賞与引当金	7,170	7,470
前受収益	21,840	7,391
その他	133,785	95,261
流動負債合計	1,448,614	1,338,333
固定負債		
長期借入金	400,000	-
退職給付に係る負債	19,703	15,800
長期預り敷金保証金	30,499	33,097
その他	22,275	34,572
固定負債合計	472,478	83,469
負債合計	1,921,092	1,421,803
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,511,355	1,511,355
利益剰余金	47,616	△119,083
自己株式	△1,972	△1,972
株主資本合計	1,656,999	1,490,300
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	20,106	38,289
その他の包括利益累計額合計	20,106	38,289
純資産合計	1,677,105	1,528,589
負債純資産合計	3,598,198	2,950,393

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年11月1日 至2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年11月1日 至2023年4月30日)
売上高	422,645	354,098
売上原価	220,234	174,346
売上総利益	202,411	179,751
販売費及び一般管理費	313,068	346,753
営業損失(△)	△110,656	△167,001
営業外収益		
受取利息	6	87
貸倒引当金戻入額	29	132
業務受託収入	57,000	28,666
その他	2,647	4,166
営業外収益合計	59,683	33,053
営業外費用		
支払利息	2,846	8,903
業務受託費用	39,646	21,562
株式交付費償却	2,647	-
その他	2,164	364
営業外費用合計	47,305	30,830
経常損失(△)	△98,278	△164,778
特別利益		
固定資産売却益	-	10
特別利益合計	-	10
特別損失		
固定資産除却損	-	147
店舗閉鎖損失	-	879
減損損失	41,207	-
特別損失合計	41,207	1,027
税金等調整前四半期純損失(△)	△139,485	△165,795
法人税、住民税及び事業税	246	246
法人税等調整額	-	658
法人税等合計	246	904
四半期純損失(△)	△139,732	△166,699
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△139,732	△166,699

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
四半期純損失(△)	△139,732	△166,699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,037	18,183
その他の包括利益合計	32,037	18,183
四半期包括利益	△107,694	△148,516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△107,694	△148,516
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年11月1日 至2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年11月1日 至2023年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△139,485	△165,795
減損損失	41,207	-
減価償却費	17,576	3,251
株式交付費償却	2,647	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,086	439
賞与引当金の増減額(△は減少)	400	300
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,535	△3,903
受取利息及び受取配当金	△6	△87
支払利息	2,846	8,903
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△787,803	273,857
借入有価証券の増減額(△は減少)	△9,059	△49,808
売上債権の増減額(△は増加)	△10,811	3,864
棚卸資産の増減額(△は増加)	△10,192	△69,898
仕入債務の増減額(△は減少)	9,134	△14,180
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	3,288	2,598
前受収益の増減額(△は減少)	△12,308	△14,449
預り金の増減額(△は減少)	△2,181	△19,311
その他	△28,862	△19,954
小計	△917,987	△64,172
利息及び配当金の受取額	6	87
利息の支払額	△2,916	△13,910
法人税等の支払額	△6,313	△625
営業活動によるキャッシュ・フロー	△927,210	△78,620
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,767	△11,861
貸付金の回収による収入	-	2,670
敷金及び保証金の差入による支出	△13,258	△3,095
敷金及び保証金の回収による収入	-	26,320
その他	△3,250	18,844
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,276	32,877
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	99,195	27,000
長期借入れによる収入	400,000	-
長期借入金の返済による支出	△3,960	△400,000
自己株式の取得による支出	△1	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	495,233	△373,000
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△460,253	△418,743
現金及び現金同等物の期首残高	729,167	1,186,812
現金及び現金同等物の四半期末残高	268,913	768,069

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益計算 書 計上額 (注)2
	不動産事業	投資事業	ファイナンス 事業			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	210,316	-	-	210,316	-	210,316
その他の収益(注)3	161,569	50,759	-	212,329	-	212,329
外部顧客への売上高	371,886	50,759	-	422,645	-	422,645
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	371,886	50,759	-	422,645	-	422,645
セグメント利益	31,267	15,477	-	46,745	△157,402	△110,656

- (注) 1 セグメント利益の調整額△157,402千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
- 3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく不動産賃貸収入、及び、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)に基づく金融商品に係る取引であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントにおいて、保有する固定資産の保有方針を変更したため、その帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において41,207千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算 書 計上額 (注) 2
	不動産事業	投資事業	ファイナンス 事業			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	148,567	-	-	148,567	-	148,567
その他の収益(注) 3	78,355	127,175	-	205,530	-	205,530
外部顧客への売上高	226,923	127,175	-	354,098	-	354,098
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	226,923	127,175	-	354,098	-	354,098
セグメント利益又は損失 (△)	△14,412	56,959	△2,913	39,633	△206,634	△167,001

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△206,634千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく不動産賃貸収入、及び、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号2019年7月4日)に基づく金融商品に係る取引であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは「不動産事業」、「投資事業」を報告セグメントとしておりましたが、当第2四半期連結会計期間より株式会社REVOLUTION FINANCEを連結子会社としたことを契機に、従来の報告セグメントに加え「ファイナンス事業」を報告セグメントとして新たに記載しております。